

解説 15

ふいご

(外ヶ浜町大山ふるさと資料館)

当資料館は、史跡大平山元遺跡おおだいやまもとの考古資料をはじめ、町内で使われていた民俗資料を収集、収蔵、活用・展示しています。館は、旧蟹田町立大山小学校の木造校舎を用い、平成13年に開館した社会教育施設です。町村合併を経て、現在の名称になりました。

民俗資料は、日ごろから町民からの資料の提供を受け、1200点以上が収蔵されています。今回紹介する「ふいご」は、空気を送り込む送風機です。鍛冶や鋳物の際に、炭火に空気を送り、火力を上げ、温度を上昇させます。鉄を溶かすためには重要な道具で、刃物や鍋釜の修理に用いました。

町内には、鍛冶屋も多かったようで、このほかにも数点、大きい資料や小さい資料があります。この資料は、当町の蟹田地区で寄贈を受けました。鍛冶屋へ弟子入りし、数年

たって修行が終わり、独立する際に師匠から贈られたものだそうです。事情があり、鍛冶屋を開くことがなかったが、師匠からもらった大切な「ふいご」なので、蔵で保管していたそうです。使用された形跡はなく、破損や腐食もみられない、とてもきれいな新品の状態です。購入した商品のようで、「大阪鞆ふいご」「極上」等の文字が見えます。上部のふたには、別製三尺五寸とあります。そのふたを取って中をみると、ガラス板や動物の毛を用いていることがわかります。

民俗資料と言うと、年季の入ったものや壊れて古びたもののイメージですが、稀にこんな資料もあります。

(外ヶ浜町教育委員会)

社会教育課 班長兼学芸員 駒田 透)



ふいご